

四門出遊(四)

今回からしばりはシッダールタ王子が出家をするに決定つけさせたと言われる4つの出会いをお話しあしょつ。

カピラ城には東西南北4つの方向何れにも門がありました。

ある日、王子は東の門から遊園に郊外へ向かって城から出てきました。しばり行くとシッダールタ王子一行の前に一人の老人が現れました。

それは王子が今までにみたこともないほどに年老いた男性でした。

王子は驚きつろたて御者に尋ねました。

「この、腰がまがり、力がなく、小さく頭も白く、歩くのも難儀なこの男は何とした」とあります。

御者は答えます
「王子、この男は老いに打ちひしがれて家族から森に捨てられた者です。」

今回は思い切つて創刊より続け
てきた「善仁寺寺報」のロゴも
変更して作つてみました。

今、休憩所も含めて、お庭、お墓、通路の整備で境内のいたると
ころで工事中です。

足元が悪い場所があります。「」
迷惑おかけいたします。

バリアフリー化も含めてお参り
しやすい環境作りのための工事
せました。ソリド、しばりくしてから
「そんなに悩むよ」とどうだ再び遠出を
しなさい、気分が晴れるであつた
でした。もう遊園などといつ春暖は
氣分はありません。

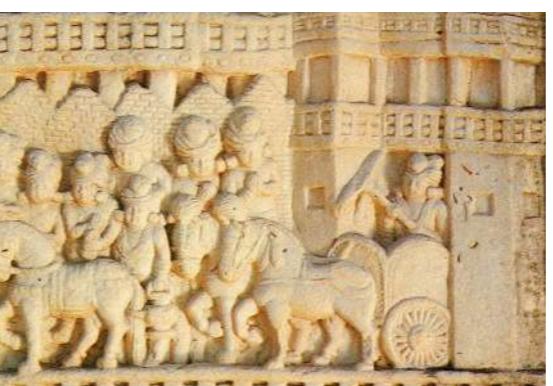
すぐさま御者に命じ、城へと戻りました。
「若者は消えさつてしまつ…何といつ
ことだ！ 老いはいつか私を苦しめる
であろう！ ああ…ああ…」

「老い」の発見をしたのでした。そして
それが人間の存在の本質である
と知つたのでした。

現代の私たちの田からすると、いくつ
王族であつたとしても、老人を見たこ
とがないなんて、あり得るのだらうか？
と思つてしまつます。

ところが「説では、この時代、体の弱つた
老人は城から追い出され、森に捨てら
と勧めました。

王子は気持ちを切り替えて再び、城を
出たのでした。



カピラ城の人々の中を、駕尊を乗せた馬車が城門をでる
様子。(サーンチー第一塔/北門門柱 / 1世紀頃)



ご合掌
(ごうざん)



法名軸? 位牌?

その他にも

「仏説にはなき事なり」とあり、

仏教に取り入れられたのは「近
古の事なり」とその歴史も「五
世紀中ごろから書物にも散見

られます。

ます。法名軸

といいます。

位牌を用いな
い理由は位牌
が日本に伝わ
る前の起源に

あるようです。「言でいうと、位
牌とは仏教ではなく儒教の風習
で用いられていましたのであった
ということが大きいようです。

云へり。」

(望月仏教
大辞典より)

とあります。

その他の

こと

が

あります。

その他の

こと

が

